

第2四半期決算説明資料 (2009年度)

2009年 11月30日



2009年度 第2四半期 決算概要

2009年度 第2四半期累計期間の総括

●当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に景気の持ち直しの動きが見られ下げ止まり感はあるものの、先行きの不透明感から来る企業の設備投資抑制や輸出、個人消費の低迷が続き、依然として厳しい状況のまま推移しました。

●このような厳しい経済状況の影響を受け、当社の呼吸用保護具の受注におきましても、製品・商品ともに低迷を余儀なくされた結果、当第2四半期累計期間の売上高は、36億1百万円（前第2四半期累計期間比577百万円減）と、前第2四半期累計期間の売上高を大きく下回る結果となりました。

●前々年度における製造業務の事業所間移転及び前年度における製造ライン改造にとともなう費用の増大は、当第2四半期累計期間では相当程度鎮静化し、製造原価の低減に寄与しました。また、期初より、生産体制の効率化と労務費・製造経費の節減を強力に推進した結果、製品製造原価率は前年度末の71.0%から65.7%へと大幅に減少し、売上高減少による業績の悪化の抑制に大きく貢献しました。

●以上の結果、当第2四半期累計期間の利益面では、営業利益は16百万円、経常損失は14百万円、四半期純損失は7百万円と、いずれも前第2四半期累計期間の損失を大幅に改善するとともに、本年5月に発表しました第2四半期累計期間の利益予想を、僅かではありますが、上方修正することができました。

●第3四半期以降につきましては、景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く経営環境も不安定と思われる為、引き続き生産体制の効率化に努め、人件費・経費の節減に取り組んでまいります。

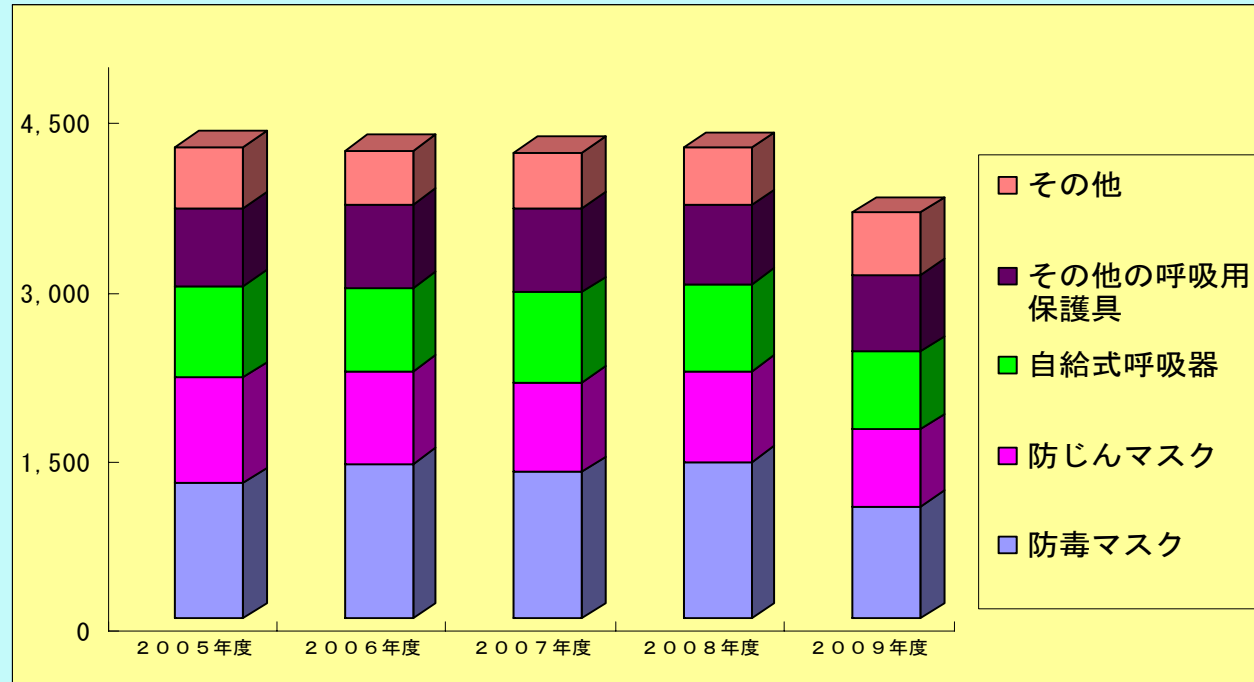
2009年度第2四半期累計期間 損益の状況

(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

	08年度第2四半期	09年度第2四半期	前年同期間比増減	備 考
売 上 高	4,178.5	3,601.6	△576.9	依然として生産・雇用調整や設備投資の抑制等が継続する厳しい景況の影響を受け、売上高は前年同期間比13.8%の減少となりました。
製品製造原価	2,268.4	1,679.9	△588.5	前年度までに実施した工場移転及び製造ラインの改造による諸費用の増加が一段落した他、生産体制の効率化と労務費・製造経費の節減を強力に推進した結果、売上原価は大幅に減少し、売上総利益は、前年同期間比11.5%の増加となりました。
商品原価	947.3	848.1	△99.2	
売上原価	3,215.8	2,528.1	△687.7	
売上総利益	962.8	1,073.5	110.8	
販売費及び一般管理費	1,070.6	1,057.9	△12.7	研究開発費の増加はありましたが、期初からの経費節減策がそれを吸収し、販売費及び一般管理費は減少しました。
営業利益	△107.8	15.6	123.4	前年同期間比、受取配当金が増加し、支払利息・手形売却損が減少しています。
営業外損益(損側表示)	32.0	29.9	△2.1	
経常利益	△139.8	△14.3	125.5	固定資産の除却損が大幅に減少した他、当年度には、役員退職慰労金制度廃止に関連した特別利益を計上しています。
特別損益(損側表示)	55.8	△12.5	△68.3	
税引前四半期純利益	△195.6	△1.7	193.8	
法人税、住民税及び事業税	2.1	3.3	1.2	以上の結果、当第2四半期累計期間は、純損失とはなりましたが、期初の予想(40百万円の損失)は上方修正することができました。
法人税等調整額	△73.6	2.3	76.0	
四半期純利益	△124.0	△7.4	116.6	

第2四半期累計期間のセグメント別売上高推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

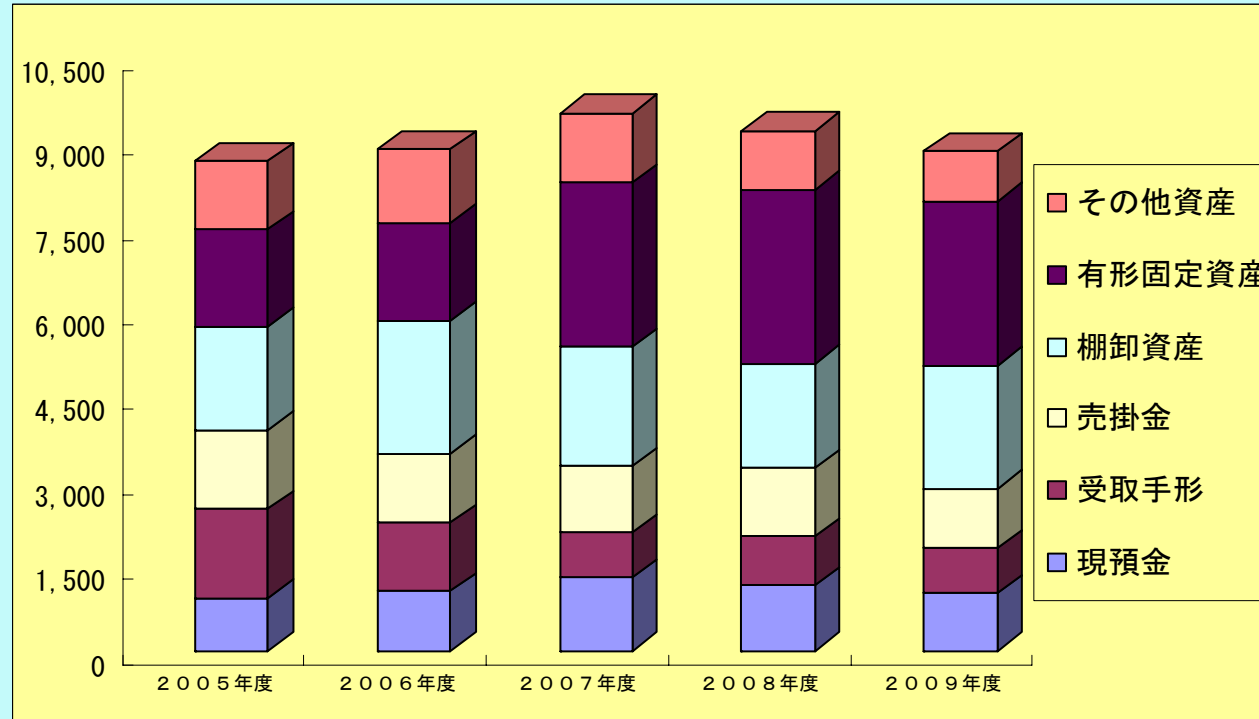
	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
防毒マスク	1,199.7	1,367.6	1,299.7	1,394.9	992.3
防じんマスク	937.7	828.9	797.6	799.3	686.1
自給式呼吸器	811.3	741.6	798.8	778.2	689.7
その他の呼吸用保護具	688.7	732.3	749.2	694.1	688.7
その他	550.3	482.2	495.2	512.0	544.8
合計	4,187.7	4,152.6	4,140.4	4,178.5	3,601.6

当第2四半期累計期間の特徴

- ① 当第2四半期累計期間におきましては、ほぼ全セグメントにおいて景気停滞の影響を受け、前年同期比、大幅な売上減少となりました。
- ② 防毒マスクは、当第2四半期累計期間においては、景気後退による、自動車、鉄鋼、化学業界への売上が減少したほか、米国への輸出が、現地における在庫調整のため縮小したこともあり、減少幅を広めています。
- ③ 自給式呼吸器、その他の呼吸用保護具についても、官公庁向けの売上が、一部、第3四半期以降にずれ込んだこともあり、やや減少しました。

第2四半期末の主要資産状況推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
現預金	930.2	1,061.9	1,294.4	1,163.3	1,013.2
受取手形	1,584.9	1,196.0	789.5	867.9	796.6
売掛金	1,391.7	1,229.5	1,179.2	1,207.9	1,056.7
棚卸資産	1,825.9	2,346.4	2,118.0	1,834.2	2,176.9
有形固定資産	1,709.1	1,725.1	2,890.2	3,080.0	2,898.6
其他資産	1,215.7	1,303.8	1,224.3	1,034.6	883.7
合計	8,657.5	8,862.8	9,495.7	9,187.9	8,825.7

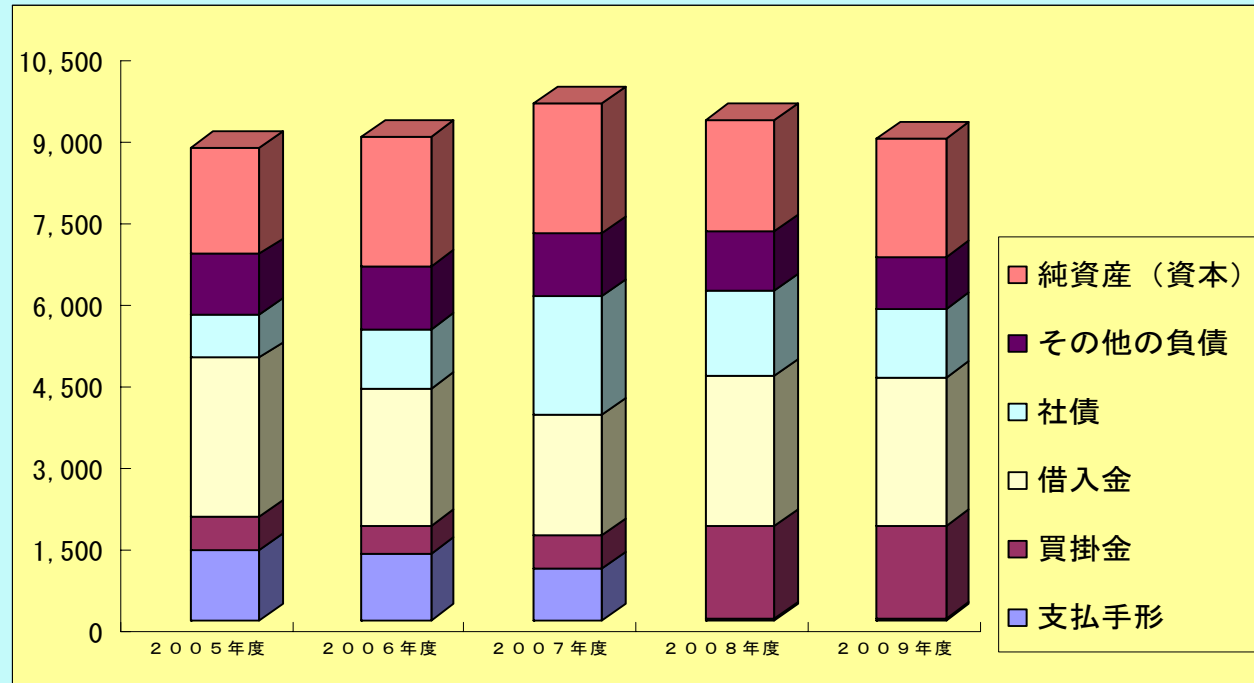
注： 本表における受取手形には、手持受取手形その他、債権売却未収入金の受取手形を含んでいます。債権売却手形（資金化分）は、簿外のため含まれていません。

当第2四半期末の特徴

- ① 現預金の残高が減少していますが、借入のタイミングのズレ等によるものであり、特段の問題はありません。
- ② 受取手形は、債権流動化システムの債権売却手形分（手形割引に相当）を加えると、前年同期末比、3億円以上の減少となっています。
- ③ 売掛金も、前第2四半期末比減少していますが、いずれも売上高の減少が主因です。
- ④ 棚卸資産は、前第2四半期末比及び前期末比とも増加しています。これは、当第2四半期末における受注残高が大幅に増加しており、第3四半期以降の売上に備えたものです。
- ⑤ 当第2四半期累計期間では、目立った投資は行っておらず、減価償却の進捗により有形固定資産は減少しています。
- ⑥ その他資産については、投資有価証券の購入による増加があるものの、繰延税金資産の減少及び経営者年金掛金の取崩しにより、全体としては減少しています。

第2四半期末の主要負債・純資産状況推移

(単位：百万円)



当第2四半期末の特徴

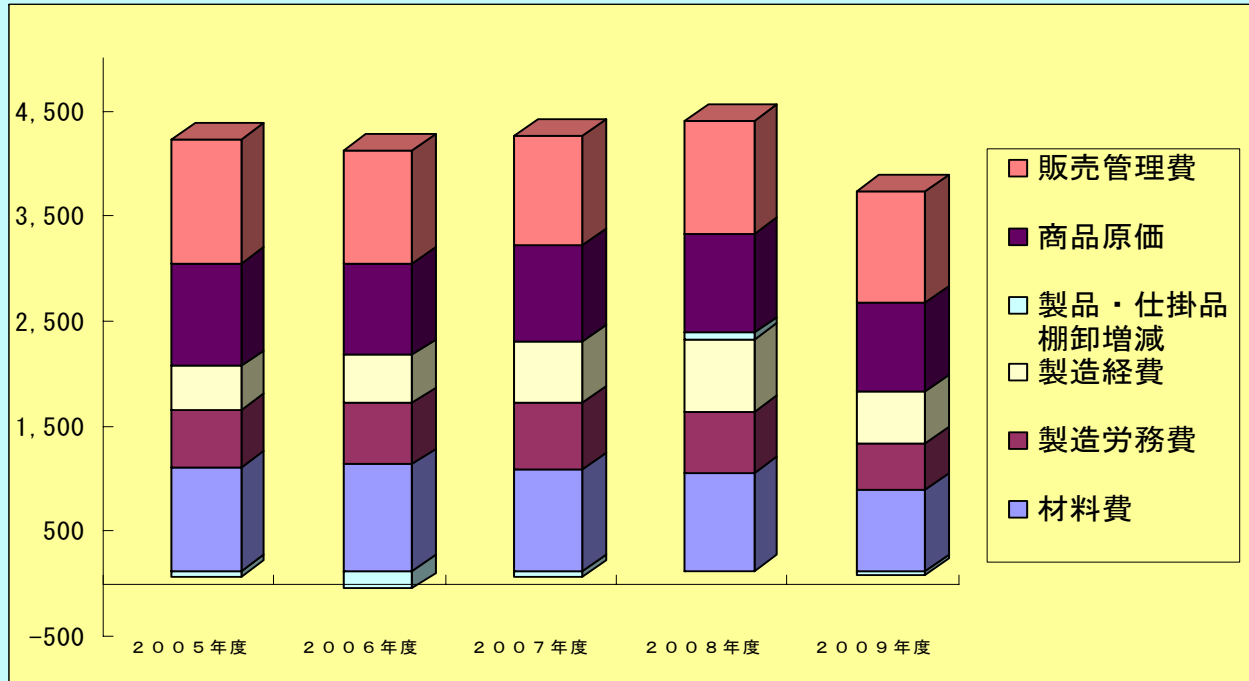
- ① 前々年度に、支払手形の発行をほぼ全面的に廃止し、ファクタリングシステムに切り替えた結果、支払手形の残高は買掛金残高に移動しています。
- ② 当第2四半期末時点での受注残高の増加もあり、第3四半期以降の販売に備えて仕入が先行しているため、買掛金残高は、前第2四半期末比、増加しています。
- ③ 借入金及び社債は、船引第二工場建設時に発行した社債の約定返済が進捗しているとともに、長期資金の借り換えタイミング等もあり、前第2四半期末比、減少しました。
- ④ 純資産(資本)は、前第2四半期累計期間よりも赤字幅が大幅に減少したことにより、利益剰余金が増加し、全体としても増加しています。

単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
支払手形	1,286.2	1,209.7	945.7	37.6	23.0
買掛金	618.9	533.4	617.2	1,696.8	1,717.5
借入金	2,901.8	2,493.0	2,212.0	2,752.7	2,711.7
社債	800.0	1,100.0	2,160.0	1,576.6	1,242.8
その他の負債	1,104.2	1,149.3	1,180.6	1,074.8	975.6
純資産(資本)	1,946.4	2,377.5	2,380.2	2,049.5	2,155.1
合計	8,657.5	8,862.8	9,495.7	9,187.9	8,825.7

第2四半期累計期間の売上原価・販売管理費状況推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
材料費	981.3	1,015.2	970.6	940.0	779.4
製造労務費	551.7	582.3	636.8	582.2	433.1
製造経費	417.8	457.2	575.4	682.3	500.7
製品仕掛品棚卸調整	△ 58.8	△ 168.9	△ 58.2	64.0	△ 33.4
商品原価	985.0	876.2	927.2	947.3	848.1
販売管理費	1,181.2	1,076.1	1,039.0	1,070.6	1,057.9
合計	4,058.1	3,838.2	4,090.8	4,286.3	3,586.0

当第2四半期累計期間の特徴

- ① 材料費は、前年同期比、金額的に減少しましたが、製品売上に占める材料費の比率も、前年同期間の30.8%から当四半期累計期間は30.5%と、さらに改善しています。

製造労務費は、前々年度に実施した工場移転に伴う人員配置の一時的な膨らみがさらに縮小した他、徹底した人件費の圧縮策を実施した結果、大幅に減少させることができ、当四半期累計期間における製造原価の圧縮に大きく貢献しました。

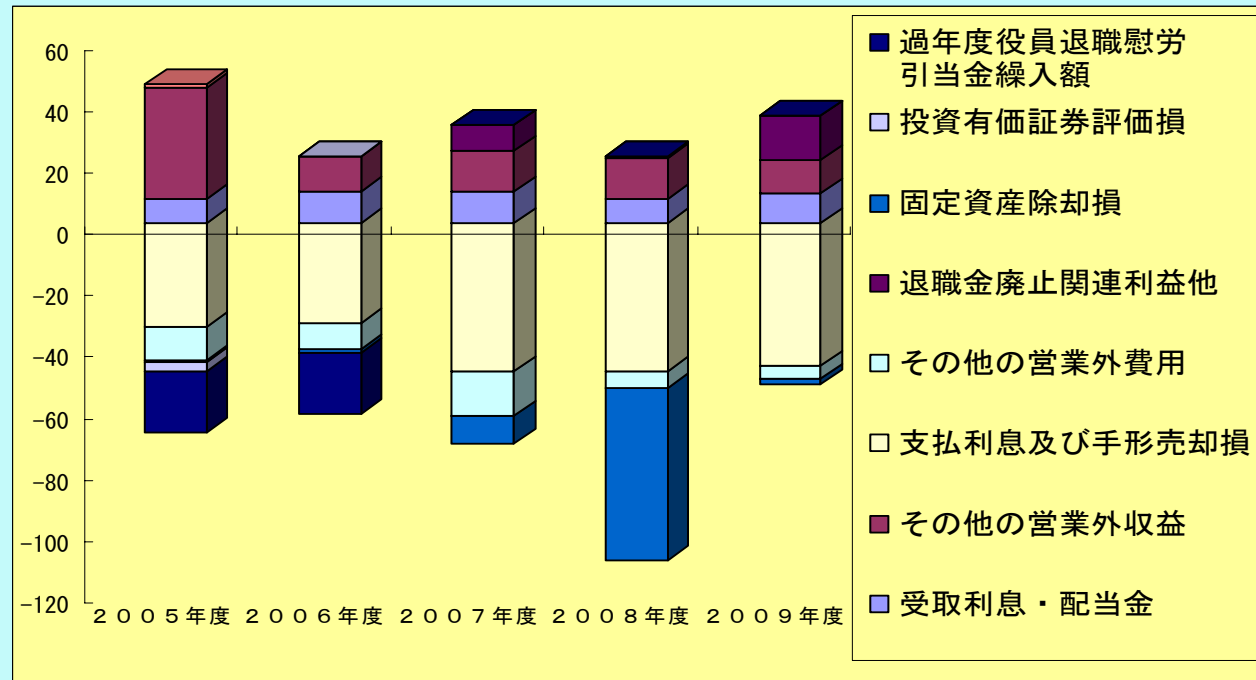
製造経費についても、前年度までに実施した工場移転及び製造ラインの改造による諸費用の増加が一段落した他、生産体制の効率化と諸経費の節減を強力に推進した結果、大幅に減少し、製造原価の圧縮に大きく貢献しました。

- ② 商品原価は、売上の減少で金額は減少しましたが、商品売上高に対する原価率でも81.2%と、約3ポイント改善しました。

- ③ 販売及び一般管理費は、研究開発費等は増加しましたが、徹底した人件費・経費の圧縮策の実施により吸収し、全体としては減少しています。

第2四半期累計期間の営業外・特別損益推移

(単位：百万円)



当第2四半期累計期間の特徴

- ① 営業外収益では、受取利息は微減しましたが、保有株式の受取配当金は増加傾向にあります。
- ② 借入金、社債、手形割引及び債権売却手形の残高が、前年同期間比減少しており、支払利息及び手形売却損は減少しています。
- ③ 当社は、本年6月開催の定時株主総会で役員退職慰労金の廃止を決議しましたが、これに伴い、別途積み立てていた経営者年金掛金を取り崩した結果、14百万円の特別利益が発生しました。
- ④ 前第2四半期累計期間では、東京事業所の廃止等にともない、器具工具等の固定資産除却損が発生しましたが、当第2四半期累計期間における固定資産除却損は極小化しました。

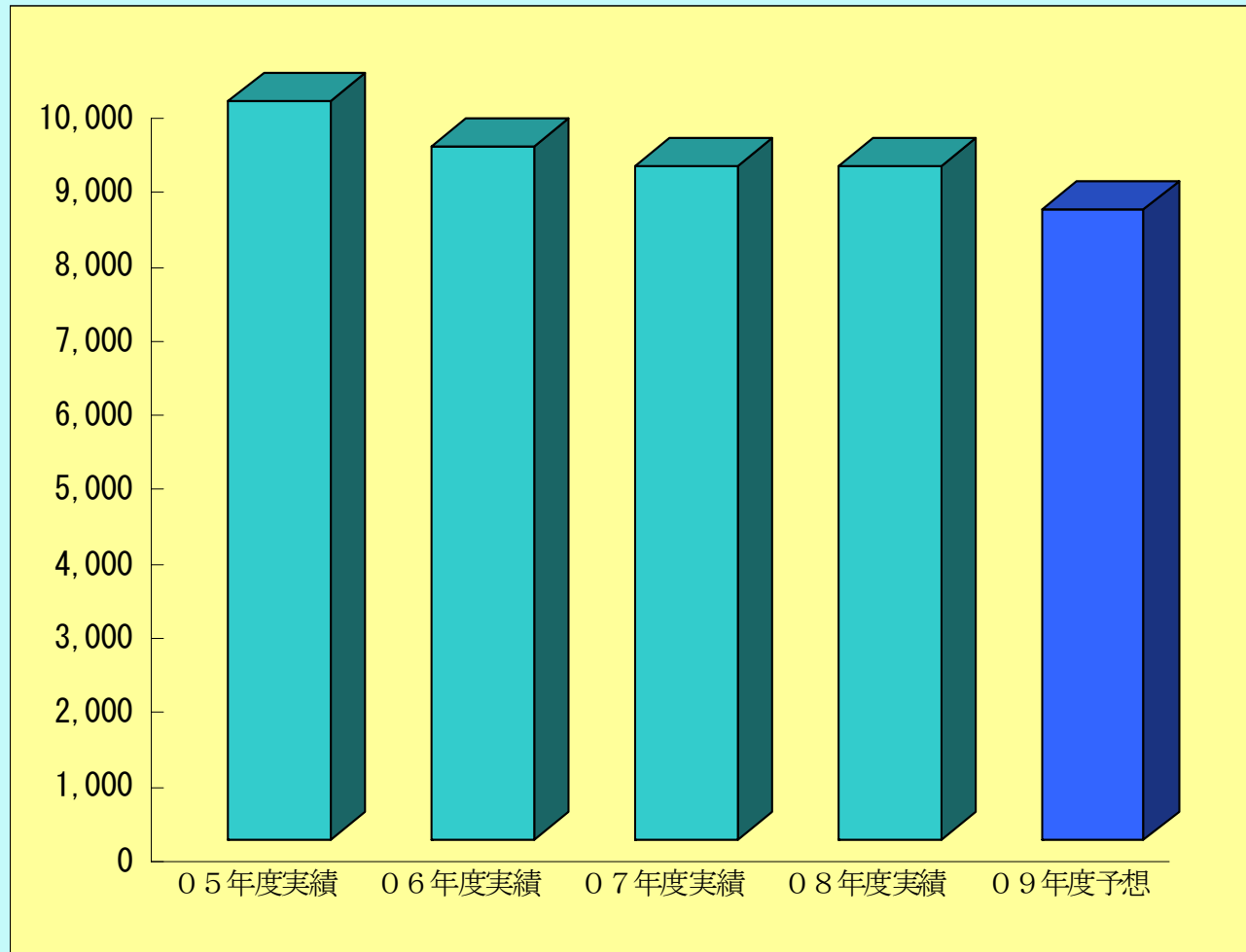
単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
営業外損益	受取利息・配当金	8.3	10.6	10.3	8.1	9.7
	その他の営業外収益	36.1	11.4	13.4	13.3	10.8
	支払利息及び手形売却損	△ 33.8	△ 32.6	△ 48.0	△ 48.1	△ 46.1
	その他の営業外費用	△ 10.9	△ 8.3	△ 14.7	△ 5.4	△ 4.2
	営業外損益合計	△ 0.3	△ 19.0	△ 39.0	△ 32.0	△ 29.9
特別損益	役員退職金廃止関連利益他	0.0	0.0	8.2	0.3	14.5
	固定資産除却損等	△ 0.3	△ 0.9	△ 9.1	△ 56.1	△ 1.8
	投資有価証券評価損等	△ 3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	過年度役員退職慰労引当金繰入額	△ 20.0	△ 20.0	0.0	0.0	0.0
	特別損益合計	△ 23.3	△ 20.9	△ 0.9	△ 55.8	12.7

2009年度 通期業績予想

2009年度 通期の売上高予想

(単位：百万円)



状況と見通し

当第2四半期累計期間における売上高は、本年5月に発表した業績予想に比し、約3億円の未達ではありますが、前第2四半期累計期間に比し、受注残高が約2.5億円多いこともあり、通期の当初予想85億円の達成は、今後の動向如何と考えられます。

通期の業績予想につきましては、今後の景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く経営環境を予測することが困難である為、本年5月に発表した予想85億円にて、業績の推移をいましばらく見極めたいと考えております。

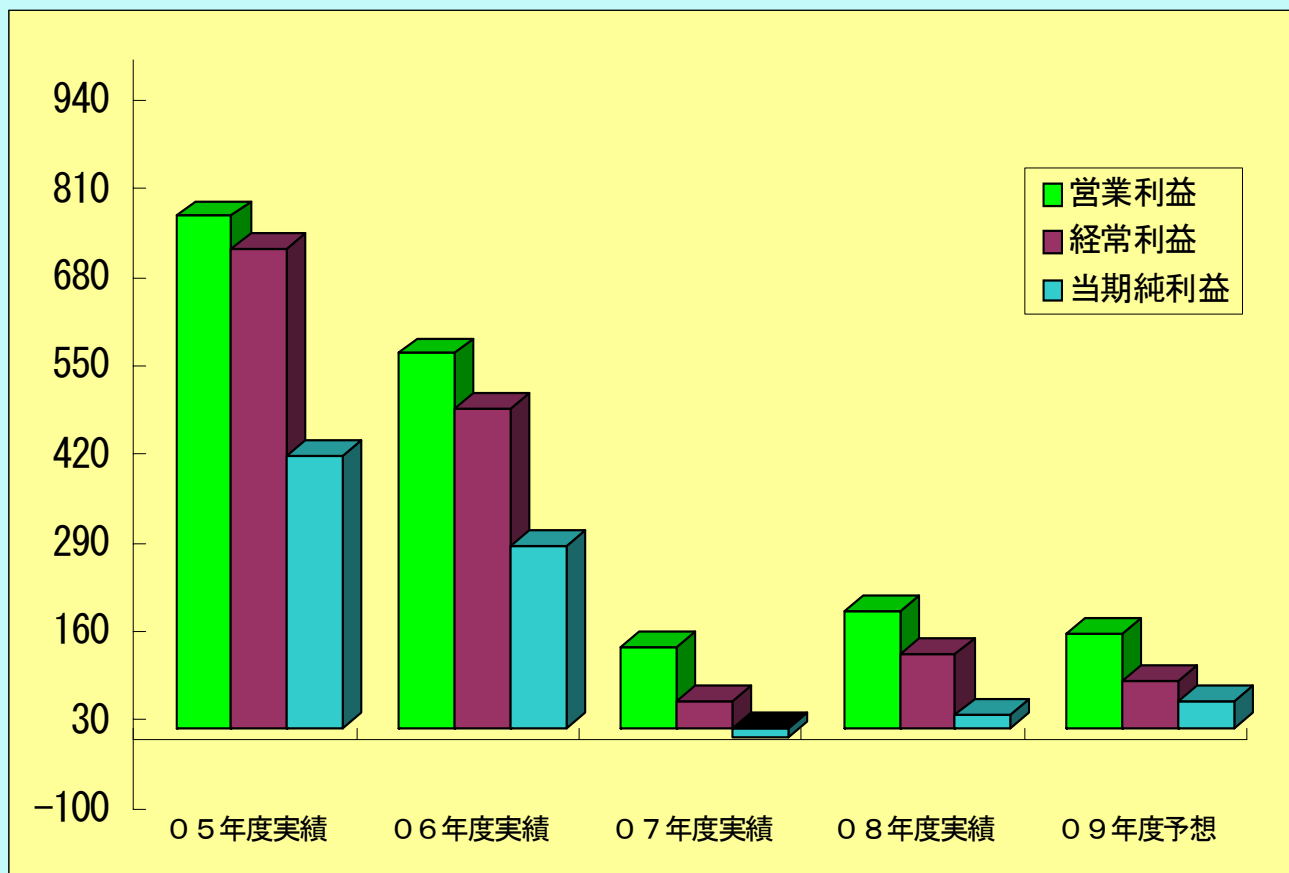
今後、状況に変化があると予想された場合は、JASDAQの適時開示システムを通じ、業績予想の修正を行ってまいります。

単位：百万円、小数点未満四捨五入

	05年度実績	06年度実績	07年度実績	08年度実績	09年度予想
通 期	9,938.4	9,322.3	9,058.7	9,072.8	8,500.0

2009年度 通期の利益予想

(単位：百万円)



状況と見通し

当社における年間売上高の構成は、前年度実績の第1四半期 20.9 億円、第2四半期 20.9 億円、第3四半期 20.4 億円、第4四半期 28.6 億円でわかるとおり、恒常的に下半期、特に第4四半期に偏重しています。

第2四半期における利益実績は、本年5月の業績予想を上回りましたが、第3四半期以降の経済環境は、不透明感の中で景気停滞色が強まる可能性が高いと考えられます。

以上のことから、現時点では5月発表の当初予想を修正せず、通期では、営業利益 140 百万円、経常利益 70 百万円、当期純利益は 40 百万円を見込んでおります。

単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	05年度実績	06年度実績	07年度実績	08年度実績	09年度予想
営業利益	752.9	551.1	118.2	172.8	140.0
経常利益	704.2	468.6	41.3	109.7	70.0
当期利益	400.1	268.3	△ 13.2	22.3	40.0